

6月例会を終えて

主幹 青少年育成委員会 委員長 畠山武将



梅雨の晴れ間が恋しいころ青少年育成委員会担当の6月例会が行われました。

6月例会趣旨 1つ目として日頃メンバーを支えている家族との交流をする切っ掛けがないことからメンバー家族を初めメンバー間の結束、交流を深める場が必要であると考えました、2つ目として自分たちが生まれ育った故郷の魅力や資源について知らない部分があり、郷土一関について学ぶ必要があると考えました。これらのことより一関市の花である「菜の花」を原料にして菜の花オイルづくりを委員会メンバーでもある(株)テクノボズ小野寺伸吾くんを講師に選定し、また古くからあるが失われつつある「炭」づくりを炭焼きの文化を継承する為に尽力されている一関市市議会議員佐藤弘征氏をお招きし体験する事でメンバーとメンバーの家族との交流、親睦を深める例会を開催しました。

当日の天候は、時折小雨が降るにも関わらず大人29名、子供20名、計49名の大勢の御参加をいただき第一の目的でもあるメンバー家族を初めメンバー間の結束、交流を深める事ができたのではないかと自負する思いとともに今回の事業にお力添え頂きました多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

結びとなります私事で恐縮ですが自宅に帰り例会に参加させた長男に何が一番楽しかったか寝かしつけながら質問したところ「油を搾った体験と炭を使って消臭剤づくりをしたこと」と予想だにしない事を言われ委員長としてだけではなく一親として最高の講評をいただいた思いで床につきました、重ね重ねお力添え頂きました多くの皆様には厚く御礼申し上げます。



理事長の今月の格言

どんな能力をもって生まれたかは大した問題ではない。
重要なのは、与えられた能力をどう使うかである。

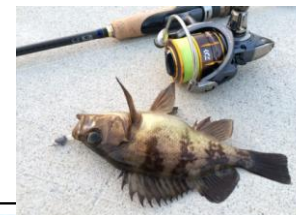
by アルフレッド・アドラー



メールに「お世話になっております」というフレーズを必ず入れる人がいますが、面識のない人や、まだ取引が始まっていない人には、本来使えません。「初めてメールを送らせていただきます」「突然のご連絡で、失礼いたします」といった言葉を使うと良いでしょう。一方、会社としては既に取引があるという場合には、「お世話になっております」という書き出しでも問題ありません。相手との関係を考えて使用すると良いですね。日々のJC活動や仕事でもマナーをしっかり習得して活用していきましょう！



趣味は何ですか？と聞かれたら「釣りで」と答える。こじらせはたくさんあるが、そう答えない。小さい頃は埼玉に住んでいて、近くの池や川で釣りをしていた。その当時、近所のおじさんが釣りを教えてくれた。ダボシャツから覗くカラフルな模様の入ったおじさんだった。あれから30年以上たった今も釣りを好きでいる。だから趣味は『釣り』と答える。ずっとやってきたし、これからもやりたい。それが趣味なのだ。ただ、最近はぜんぜん行けないでいる。仕事が終わってすぐに海に行き、昼まで釣りを楽しんで帰って仮眠して仕事、みたいな生活は怒られるであろうし、そろそろ体がもたない。気付けば、釣りを教えてくれたあのおじさんと同じ位の歳になっている。



6回目 浅野流



小学1年の次男の「親子レク」で給食を食べてきました☆小学生は1食¥260でバランスのとれた食事を子供に与える事ができるのは親として大変ありがたく助かっています。私が小学生の頃は瓶の牛乳で年に1回あるかないかの「粉のコーヒー」が大好きでした(^_^)一気に粉を入れると溢れるので最初に少し飲んでから粉を入れて細いストローかき混ぜる(*^_^*)給食しか楽しみがなかった小学校生活で最高の瞬間だったのを今でも鮮明に覚えています☆ソフト麺・きなこパンも大好き(*^_^*)高学年になって冷凍クレープが出てきた時は献立表の時点からそわそわして、その日は絶対休まなかった。女子なのにおかわりの列に並んでいた私にとって、給食を掃除の時間まで食べている子や、帰りの会まで食べていた子が不思議でなりませんでしたが、娘が最後まで食べていると聞いてビックリ!! そして食べれなかったら残食しているの聞いて驚愕...私の子供なのに(*.*)娘は学校で1番、給食時間が憂鬱なそう...私が代わりに食べてあげたい。って言うか食べたい!笑



青年会議所 JCとは

青年会議所(JC)は“明るい豊かな社会”の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの青年の団体です。人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。

日本の青年会議所運動は、現在697の地域約36,000名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中核は国際青年会議所ですが、100以上の国及び地域に117のNOM(国家青年会議所)があり、約16万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。

日本青年会議所の事業目標は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導力の開発を推し進めています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。